

## NPO法人再生医療推進センター平成28年度総会議事録

日時：平成28年 5月 28日（土） 18時00分～18時55分

場所：大クマ眼科(函谷銚ビル4階；京都市下京区)

出席者：井上一知 大熊藍子 藤井康雄 山岸久一 日裏彰人 守屋好文  
篠原茂生 川原美枝 井上公子

### 議事の経過の概要及び議決の結果

井上理事長より、定刻どおりに平成28年度総会の開催が宣言された。

#### ① 平成27年度会計報告

川原理事より、平成28年3月31日現在の特定非営利活動に係る貸借対照表、ならびに平成27年4月1日から平成28年3月31日までの特定非営利活動に係る事業会計収支決算の報告があった。

井上理事長より、平成27年度にご寄付を賜った方々が報告された。

i d cレインボーの会

神田義次様、山本拓宏様、圓城正男様、上野芳子様、大橋とし子様、堀川宏子様、岡村泰秀様

#### ② 平成28年度予算案

川原理事、及び井上理事長より、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの、特定非営利活動に係る事業会計収支予算案の報告があった。

#### ③ 理事任期の件

前年度で清野裕理事の退任の申し出を受け、受理された。

井上理事長より、理事19名の再任が全会一致で承認された旨の報告がなされた。

##### ・再任理事名

井上一知、大熊藍子、角昭一郎、饗庭一慶、金澤正憲、河瀬斌、川原美枝、木村正弥、古賀まり、小茂川邦彦、篠原茂生、萩原明郎、日裏彰人、藤井康雄、星野順一、宮本正章、山岸久一、守屋好文、徳永立子

##### ・監事

大熊正人

#### ④ ホームページについて

再生医療相談室には、絶えず患者さんからの多くの切実な質問が寄せられている。当NPO法人のサイトでは、再生医療について患者さんや一般市民の方々からのご質問を受け付け、理解を深めることを重視している。分かりやすい言葉で再生医療の現状と展望を伝えるとともに、苦しんでおられる方に少しでも新しい情報を発信し夢を見出せるホームページにしたい。

患者さんや一般市民の方々からの真剣・切実なお気持ちを配慮し最新の情報を取り入れた回答に対して感謝のメールをいただくことも多く、我々のボランティア活動に生きがいを感じる場所である

再生医療の分野は日々進歩しており、当サイトも進歩に追随していく必要がある。

患者さんや一般市民の方々からのニーズが非常に多く、今後ともに、最大限の努力を払いたい。

## ⑤ 認定NPO法人申請後の状況と対策

平成18年に認定NPO法人取得の申請手続きを施行した。平成18年10月には大阪国税局から資格審査担当の方に2日間にわたり当NPOの事務所にお越しいただき、帳簿や種々の資料を点検していただき結果、当NPO法人のボランティア活動の柱である患者さんや一般市民の方々を対象とする日常の幅広いホームページ活動（再生医療相談室等）や、多くの患者さんや一般市民の方々に参加していただいている無料の全国的な講演会活動等の公益性、及び、社会的貢献度は秀逸であり、認定NPO法人にふさわしい資格を有すると判断された。認定NPO法人取得に向けての懇切丁寧なアドバイスをいただいたが、ホームページには改正前の定款がそのまま掲載されていたことが判明し、その理由で認定法人の取得はなし得なかった。

川原理事に、認定法人取得申請手続きを引き続きご担当していただくことになった旨の報告がなされた。今年度より申請手続きの協力の申し出られた、饗庭一慶理事と共に、川原理事が認定取得に真剣に尽力する決意を表明された。

認定NPO法人が承認されると、税金控除の対象となる寄付金収入の大幅な増加により、NPOのボランティア活動のより一層の充実や、より多くの患者さんや市民の方々への社会貢献の実現が可能になる。

## ⑥ 活動報告

### (1) 講演会活動

講演会活動はホームページ活動と共に当NPO法人の重要な基本的活動であり、条件を整えば今後も続けていく。これまでの講演会（過去26回、京都17回、東京2回、高知2回、神戸1回、福岡4回）の内容については、ホームページを参照されたい。

### (2) ホームページ活動

井上理事長より、ホームページの活動に関する報告がなされた。

本ホームページは、一般市民の方々「再生医療」に関する正しい知識と理解を得ることのできる情報の発信基地となり、さらに各々の疑問・質問に対して真摯に答え、悩みを抱える方にとって将来に希望を見出せる一助となることを目的として立ち上げられたものである。主な活動としては、再生医療相談室における日常業務である。現在その柱となる、再生医療相談室における日常業務に関しては、角担当理事に多大な御尽力をいただいている。ホームページ内の再生医療相談室に関しては、

患者さんや一般市民の方々からの質問に対する心細やかな配慮のある角理事の真摯な回答に関して各理事から称賛の声があがっている。

再生医療相談室は、当NPOに課せられた最も重要な活動であり、今後のさらなる充実を図るべく最善を尽くしていく旨が報告された。再生医療相談室を主とした当NPO法人の日常活動は、インターネット上で非常に高い評価を得ており、また日本中、世界中にもこのような活動はなく、今後も貴重かつ普遍的な活動としての意義には大なるものがある。

今回患者さんや一般の方々へ再生医療をより正しくわかりやすく理解して頂くため、さらに最新の情報を発信するために篠原理事と守屋理事によるコラム（元気の出る再生医療；月1～2回）を開始することになった。大いに期待されたい。

#### ⑦ 役員推薦

役員改正時に際しては、より自発的、積極的な活動、連携体制が図れるような役員の構成をめざす旨、熱意あふれる行動力のある若い理事を今後も導入していく旨、理事長から提言があり了承された旨の報告がなされた。

#### ⑧ 今後の活動方針、その他

各理事から挙げた今後の活動に関する提案の主なものは、下記の通りである

- (1) 講演会活動とホームページ活動（再生医療相談室）は当NPO法人の重要な基本的活動である。
- (2) 認定NPO法人の取得に向けて一致協力する。当NPO法人が認定法人の資格を取得すると、会員数の増加や、寄付金収入の大幅な増加が見込まれるので、NPO法人組織の構築をより機能的なものにしていくことができる。
- (3) NPOの各理事が密接に連携し、ホームページをより良いものにしていく。今年度より、ホームページ上に篠原理事、守屋理事によるコラム2編の掲載が決定した。各理事の高い専門性と幅広い知識を活かし、生物学・医学的な研究者からの視点と、実用化の現状と将来展望についての最新情報を月に1～2回の頻度で発信していく予定である。

患者さんや一般市民の方々へのより深い理解の手助けとなることを目指したい。

この連載により、本ホームページは個々人の悩みや質問に真摯に答える「再生医療相談室」と、再生医療についての正しい知識と現状及び将来性を楽しみながら学べる「コラム」の両輪から成り、対象の方々を広めることにより、さらなる再生医療の啓発につながると考えられる。

当ホームページがより幅広く認知され、再生医療の発展に貢献できるようになることを目指していく。

- (4) 全国の患者さん団体・協会との連携、ネットワークの構築

当NPO法人は、再生医療を接点にして全国の個々の患者さん団体・協会と

の連携を深め、全国の患者さん団体・協会・関連団体などに十分なご理解、ご賛同を得た上で、当NPO法人の特別会員（年会費；無料）に入会していただき、患者さん団体・協会の相互連携を担う中枢組織としてとしてのネットワークを構築する役割を果たしていく。将来的には、患者さん団体・協会・関連団体と定期的な会合を持ち、私達の活動にご理解をいただける一般市民の方々とも連携しながら、国、地方自治体や企業、メディアに対する理解や支援を呼びかけていく。これらは当NPOが掲げる従来よりの重要な目標であり、本年度も目標達成に尽力する。

2002年に井上一知理事長が日本再生医療学会を立ち上げた当初は、「再生医療」は、一般的市民の方々には全く認知されていない分野であった。現在では「再生医療」に関しては、厚生労働省が奨励しメディアが大々的に取り上げるなど、その認識は一般の方々にも幅広く浸透してきており、すでにくつかの分野で実際に医療としての臨床応用が開始されている。学会の設立及びその後のNPOを含めた啓発活動が、一般の方々への「再生医療」の認識、及び日本の再生医療の進歩への大きな一助となったことは明らかである。政府も再生医療及び関連分野に対し、その医療的かつ経済的な必要性和将来性を認め、健全な実用化に向け環境整備を勧めている。必要な法整備や規制を整え研究開発と安全な実用化を推進しつつ、日本の再生医療事業は迅速に進展していくことが期待されている。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 28 年 5 月 28 日

議 長 井上 一知

理事人 大熊 藍子

同 角 昭一郎